

## ◎島根県出雲市

【人 口】 147,384 人 【面 積】 543.48 k m<sup>2</sup> 【一般会計】 620.60 億円

### ◆視察事項「新庁舎建設事業について」

新庁舎に求められる機能、重視すべき配置のあり方等を主眼として、本市の新庁舎建設に当たっての参考とするため、平成 21 年 2 月に業務開始された出雲市庁舎の建設事業について視察を行った。

#### ・新庁舎建設までの経緯

- (1) 旧庁舎の老朽化（昭和 33 年建設、一部地下 1 階、地上 3 階建て）
- (2) 防災拠点施設としての機能上の問題（昭和 56 年改正建築基準法の新耐震基準不適合）
- (3) 市町村合併による分庁化、職員増加による狭隘化の解消（平成 17 年 3 月：2 市 4 町での新設合併）
- (4) 県道改良に伴う旧庁舎の一部解体の必要性、県立中央病院の移転に伴う跡地の売却

#### ・新庁舎の概要

- (1) 工事期間：平成 19 年 2 月～平成 21 年 1 月

- (2) 規模・構造

敷地面積：9,596 m<sup>2</sup> 建築面積：5,091 m<sup>2</sup> 延床面積：24,786 m<sup>2</sup>

出雲市庁舎南側には広場等が隣接し、これを含めた敷地面積は 29,681 m<sup>2</sup>

建物構造：鉄骨造 地上 7 階・地下 1 階建て

- (3) 建設費

総事業費：89.6 億円（用地費、電算移設費、太陽光発電、備品等を含む）

（財源） 一般財源 0.43 億円、基金 16.53 億円、合併特例債 71.84 億円

- (4) 各フロアの概要

1 階：市民、福祉関係窓口、ギャラリーコーナー、キッズルーム、くまびきホール、売店・喫茶等

2 階：税、介護保険関係、行政資料展示コーナー

3 階：管理部門関係

4 階：産業観光、教育委員会

5 階：事業部門関係

6 階：議会フロア

#### ・出雲市庁舎の特色

- (1) 市民・行政・議会が三位一体に連携する 360 度開放型庁舎

3 階～5 階の基準階は、中庭を中心に内側から「通路」、「トイレ・会議室・書庫等の共用部分」、「執務室」の各スペースをリング状に配置。また、壁や間仕切りが少なく、開放的で組織機構の変化に対して柔軟に対応できる空間に。

- (2) 風土に根ざした親しみやすい建築

庁舎の西、北側の歩道沿いに設けた防風林によって、冬の季節風を防ぐとともに道行く人に安らぎを与える。また、庁舎南側 1.2ha も緑地化し、四季の移ろいが感じられるよう整備。

- (3) 公園と一体となった市民サービス窓口

東西南北のすべての方位に来客用出入口を設けるとともに、中央に窓口機能を集約し、待合から各窓口、出入口、エレベーター、階段等が視認しやすい庁舎に。

- (4) 出雲らしさのアピール



庁舎の外観の一部に、出雲大社の大屋根をモチーフとしたデザインを取り入れ、「神話の国 出雲」をアピール

(5) 庁舎内へのホール設置

講演会や研修会等に利用できる「くにびきホール」（約 300 席）を庁舎内に設け、平日の勤務時間外や閉庁日には市民にも貸し出し。

(6) 省エネと環境への配慮

各階の四方にグレーチング仕様の水平ひさしを設け、適度な採光と熱負荷の低減を両立。70kw の太陽光発電の設置。

(7) 売店・喫茶コーナー

障がい者の自立支援と社会参加の場として市内の社会福祉法人が運営し、一日約 300 人が利用。

## ・ 議会フロアのレイアウト、機能

外光の入る南東角に正副議長室を、南側に議員控室をそれぞれ設け、照明が中心となる議場や全員協議会室を北側に配置。

議場は、構造は鉄骨であるものの、議長席のバックには出雲市の木であるクロマツ材を、傍聴席周辺には旧庁舎議場で使われていたマツ材を再利用するなど、可能な限り木材を使用することで温もりのあるデザインに。また、開かれた議会運営の取り組みとして、採決結果が瞬時に表示できる「電子採決表示システム」を導入。

出雲市庁舎での喫煙は、諫早市庁舎と同様、受動喫煙対策が必要である一方で、たばこによる市税収入や火災予防対策も考慮し、各階に設けられた喫煙室に限って認めている。しかし、議会での協議により議会フロアは完全禁煙とし、6 階には喫煙室を設けていない。また、全庁的に一日 2 回（午前、午後の各 1 時間）禁煙タイムを設定し、職員の喫煙を一時的に規制するなど、喫煙者に一定の配慮をしつつ健康増進に向けた取り組みが行われていた。

## ・ 委員の感想

- 諫早市と同様、建物中央に吹抜けがあり、総ガラス張りで室内は非常に明るい。
- ユニバーサルデザイン関係はそれぞれ意見交換され、特に視覚障がい者用歩行マットについては、参考にすべきと思った。また、ガラス張りのエレベーターも良いと思う。
- 全体としては真似のできない庁舎であったが、喫煙や温暖化対策、売店の運営等、考え方は参考にすべきものがあった。
- 建築コストが高額となっているようであるが、デザイン的にはすばらしい建物であると思う。
- 出雲の文化、歴史、環境などのコンセプトが庁舎に表れており、本市の庁舎建設にも参考にしたい。
- 敷地、庁舎ともに広さが十分あり、うらやましい限りの庁舎である。出雲市も諫早市と同じく、利用者や職員のことを考えて完全分煙化しており、喫煙者にも非喫煙者にも配慮している。
- 新庁舎建設に当たっては、敷地の有効活用や利用者の身になった設計をすべきと思った。また、設計段階で職員、利用者の意見を反映させ、建てて良かったと思われるようにしてほしい。
- 本市の新庁舎は細長いものとなる計画であるが、市民窓口はせめて 3 方向から入れるようにし、また、入りやすい 1～2 階フロアも検討すべきと感じた。
- 諫早市庁舎と面積的にはほぼ同じであったが、階数の関係でゆったりしていると感じた。また、色調は出雲らしい雰囲気が出ており、落ち着ける感じであった。